

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	硫化水素ガス発生における現場確認の安全確認不足
3. 体験した事例の中心的要素	マンションの浴室内で何者かが、硫化水素ガスを発生させたもので、すでに警察官数名が現場検証を行っており、到着時に警察官から浴室内の換気及び室内の窓をすべて開放済みとの情報を聴取し、玄関付近でもガスの臭いがなかったことから面体を着装せず室内に進入したが、若干のガス臭がしたため、腰の高さでガス警報器の測定を行ったところ 30ppm を検知した。
4. 体験した事例の原因・理由	人が動き回ったことと外気の流入により、足元付近に滞留していた硫化水素ガスが室内全体に拡散されたもの。

## 【体験した事例の直接的原因について】

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

## 【体験した事例について】

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

1. 発生日時	平成 21 年 5 月 5 日 午後 4 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋内：浴室内
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	その他：有毒ガスの吸い込み
7. 事例体験時の活動	救助、その他： [ ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：ガス検知活動中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[ 49 ]歳、 勤続年数[ 30 ]年、 現場経験年数[ 9 ]年、 階級[ 司令 ]、 同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ 車長 ]
○当事者B	年齢[ 56 ]歳、 勤続年数[ 36 ]年、 現場経験年数[ 36 ]年、 階級[ 士長 ]、 同様の活動 [ 過去に 1,2 回程 ]、 任務 [ 隊員 ]
○当事者C	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A	面体を装着しないで室内に進入した	
経過 2	A	室内洗面所付近で異臭を感じた	
経過 3	B	ガス検知を行い硫化水素ガスを検知した	
経過 4	A、 B	全員に室外に退避するよう指示した	
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

危険事象の対応方法を知っていた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

#### ○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

#### ○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

#### ○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

#### ○その他

l. その他の理由があつた。

はい：他機関の関係者から聞き取った情報だけで、現場の状況判断をしてしまつた。
----------------------------------------